

## 平成26年度町長との対話集会 会議録

日 時	平成26年6月24日(火) 19:10 ~ 20:45
会 場	五反田集会所
町執行部	小谷町長, 石井副町長, 飯島教育長, 小野瀬町長公室長 中村まちづくり推進課長, 仲島農林水産課長 海老沢防災専門担当主査兼危機管理・防災係長
議 員	今村議員 飯田議員

町 民 ・ 日下ヶ塚と陣屋跡を, もう少しきれいに整備してはどうか?  
・ 潤沼川の川舟をもう少し利用してはどうか? 大洗港でやっているようなことを, 潤沼川でやってもおもしろいのではないか。

町 長 ・ 日下ヶ塚と陣屋跡については, 国費をもらうために取り組んでいる。国費をもらうには相当力を入れていかなければならないので, 現在は調査段階である。今考えているのは, お台場部分は少し広げて広場を整備し, そこにあがる道路を整備する。時間はかかるが展開していく予定である。  
・ 大洗町の資源活用として, 一度水上タクシー事業を展開するためデモンストレーションした。評価はよかった。しかし, 船宿に事業の展開を働きかけたが不発に終わり現在に至っている。最近、川釣りが減っているので, 船宿の営業も思わしくないと聞いているので, 川舟の利用にすこし力を入れいただきモデル的な取り組みをしてもらいたいと考えている。

町 民 ・ 地産地消の関係で, 大洗町の食材の日を19日に設定した日付の意味を教えてほしい。  
・ 五反田地区から斎場にあがる進入路のような避難道路を考えてほしい。

教育長 ・ 6月は, 国において食育月間となっている。6月19日は食育の日と定められている。これに合わせて日にち設定している。子ども達には, 給食だよりや学校だよりで, 食育月間や食育の日のPRをしている。大洗町の地産地消もそれと合わせて, 給食は漁協や農業の方に協力してもらい地元の特色ある産物を取り入れている。

町 長 ・ 五反田地区から斎場にあがる道路は, 復興事業に採択していた頂くため取り組んだ。関根祝町線ができれば斎場に側道ができる

と頑張ったが、涸沼の津波のレベルがそんなに高くなく復興庁が難色を示し第1次では、採択してもらえなかった。平成28年から32年の第2次で採択してもらえるように依頼する。また、斎場裏側から五反田地区におりる狭い農道があるので、以前利用していたように歩けるように整備していきたい。そこをよく見て対応する。

町 民 ・今は、草刈はしてもらっている。できれば車が通れるようにしてほしい。

町 民 ・新設する小学校には太陽光発電の設備はあるのか。災害時の防災拠点とかになるのであれば、新しい建物にはそういった設備があるとよいかと思います。

教育長 ・大洗小学校は、屋上に太陽光発電の設備がある。使用量としては3教室分まかなえる。備蓄設備となるとコストが高いが、学校なので教材的要素を含めて太陽光発電を設置している。新しい大貫夏海統合校については、設計中であり大洗小と同じような考え方で、1つは教材的要素として、災害等の実益的なことを考えにつけていきたい。今後、詳しい設計に入るのもまたご意見頂いて検討していきたい。

町 民 ・先日テレビの番組で、各市町村の出生率ランキングが放送され、ある市町村で著しく出生率があがった理由について放送されていた。第3子は保育料無料や、水道料金割引など取り組んでいる。少子高齢化が日本の最大の課題だと思う。人口を増やすのが基本だと思う。できるだけ多くの人が結婚・出産できる環境を整えていくことが大事だと思う。町で、今後独身の男女の出会いの場を設定するような取り組みはないのか。

町 長 ・大変大事なことだと思う。大洗においても、医療費の無料化や保育料の軽減等いろいろな施策をしている。しかし、思うように成果がでてこない。婚活が大事である。出生率が1.4だが2.07にしなければ人口は増えてこないなので力を入れていきたい。商工会青年部や社協と一体的になって結婚をすすめる会では、一生懸命お見合い等をやっている。町でも少子化対策に、取り組んでいきたい。

町 民 ・災害後釣り公園がなくなったため、めんたいパーク下の埠頭か

ら漁港にかけての釣り禁止区域で、釣りする方が増えている。もし、事故が起きたらどうするのか、また週明けはゴミがすごい。そういった整備または、埠頭さんと協力して注意などした方が良い。大洗町のように釣具を堂々と捨てる人はいない。事故があったら町の責任になると思う。町はどのように対応していくのか。

- ・町長の自宅付近のバイパス通りにカラスがすごい。通勤している子や自転車で通学している学生が、カラスに襲撃を受けた。通勤や通学する人が、安全に通れるようにしてほしい。

町 長

- ・第4埠頭の先端の平和の女神が置いてある公園を、釣り公園にしようかと県と検討中。その際、きちんと管理ができるようにしなければならない。マリーナもいい環境になっているのでお茶を飲む場をつくりたい。そこの営業をしながら管理ができるよう県に働きかけている。釣り愛好会からも港湾で釣りをやりやいと要望がある。港湾管理者は、禁止の看板を立てている。事故が起きたら自己責任だが、実際事故が起きたらそうとばかりはいえない。明日、港湾課へ打ち合わせに行くので、できるだけ早く解決したい。釣り人のマナーの呼びかけもしっかり努めていきたい。
- ・子どもがカラスに襲われたのは初めて聞いた。カラスの問題は生活環境に不安をもたらすので解決しなければならない。私の家の上の山なのか、近くの大きな木に巣があるのがしっかり見て対応していきたい。えさを与えない、そしてえさになるものをおかないなどゴミの出し方も工夫しなければならない。

町 民

- ・カラスは網をつついてゴミをあさる。ネットの上にブルーシートをかけたらかラスがこなくなった。

町 長

- ・カラスの嫌いな色のシートをかけたらよいかももしれない。よく検討する。

町 民

- ・カラスの解決策のひとつだが、2年間常会長をしていた時にカラスの問題があり、網をかけてブルーシートをかけるなど色々な策を試した。最終的にお金がかからない方法は、果樹園のアイデアを参考に、4つの棒を立てたところに業務用のネットをかけて空間を作りカラスがつかないようにする。
- ・今年度も来年度も、他市町村が羨むぐらいの財政確保をしていて、本当にいろいろやっている。長期的にみると大洗町の人口が減っていくことに対しての奨励金という具体的な提案が出たのはすばらしいが、20万から30万ではあまり魅力的ではない。ト

ータルの予算と何世帯を見込んでいるのか。

中村課長 ・今年度予算では、400万円を確保している。2ヶ月で4件の実績があったが、申請者は町内の方であり、まだ人口増にはなっていない。実績が増えれば、対象者には必ず支払いをするため予算要求が必要になるが制限なく支払う。

町 長 ・若い人たちを呼び込む、また、結婚して町外に出てしまった人を呼び戻したい。行政だけでも成果がでないので、町民の方たちも愛郷心をもって取り組みに協力していただきたい。出生率が低い中で、今のところは、町外者に移住をしてもらい人口の増を図るしかない。町営住宅も、町外者枠を10件ほど設けそれはほとんど埋まった。いろいろな取り組みをしているので、みなさんに協力していただきたい。

町 民 ・大洗に移住にするにあたって、夜中のバイクがうるさくて住みたくないと良く聞くのですが。

町 長 ・暴走族の取締りは、警察にお願いして特に大洗地区は意を用いて取り組んでもらっている。一時期よりはかなり減っている。ゴールデンウィーク前や大晦日の取締りは、警察100人体制で対応してもらっている。取り組みをやっていることで、大洗は取締りが厳しい地域で入れない、また、地元でも暴走行為をするような青年を生まないように取り組んでいる。なお一層、夏にはたくさんの方のお出でいただくので、夜がうるさくて眠れないということがないように、警察にお願いして夏期対策もしていきたい。